

平成 24 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1493600058	事業の開始年月日	平成18年10月1日
		指定年月日	平成18年10月1日
法人名	株式会社ウイズネット		
事業所名	グループホームみんなの家・横浜飯田北 I		
所在地	(245-0018) 神奈川県横浜市泉区上飯田町 3 7 9 5 - 9		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	18 名
		ユニット数	2 ユニット
自己評価作成日	平成24年11月8日	評価結果 市町村受理日	平成25年1月28日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ご入居様が一人ひとりが毎日楽しく笑顔のある生活が送れるように、スタッフ一同取り組んでおります。
また近くの小学校、中学校の生徒さんとの交流もあり、地域のボランティアの方のハーモニカや手品の訪問もあり活気のあるホームになってきています。
天気の良い日には、隣接する横浜飯田北Ⅱのご入居者様たちとウッドデッキにて、外気浴やお茶を楽しんだりと交流もあります。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部		
所在地	神奈川県横浜市西区南浅間町8-22-207		
訪問調査日	平成24年11月29日	評価機関 評価決定日	平成25年1月10日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p><事業所の優れている点> ◇地域との活発な交流 ・地域活動に積極的で、地域のお祭りや一斉清掃日に参加し、ハーモニカ・手品、本の読み聞かせのボランティアを受入れている。来訪する障害者のパン工房の出張販売も好評である。近隣小学校の笛の演奏会、中学校の福祉体験学習の受入もあり、生徒の訪問お礼の手紙が居間に貼られ、交流を深めている。 ◇理念の実践に向けた職員教育 ・「笑顔に触れる、心に触れるケア」の理念実践のため、職員の心構えとして「接遇の5つのポイント」を掲げ、笑顔で明るく接することの大切さを徹底し、虐待防止、身体拘束廃止の職員教育にも力を入れている。</p> <p><事業所が工夫している点> ◇季節感、生活感にあふれた居間壁面の空間作り ・居間の壁面には月の絵に本物のススキが飾られて季節感を出している。利用者の塗り絵や作品、敬老会などの行事の写真で、季節感や生活感を取入れた居間の空間作りが行われ、暮らしの場が整えられている。 ◇「心に触れる」一工夫 ・毎月の家族宛て通信だよりには居宅担当職員の直筆のコメントが添えられ、家族に好評で、「心に触れる」理念の精神を細やかな点で実践している。</p>
--

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームみんなの家・横浜飯田北 I
ユニット名	1 ユニット

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらい <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらい <input type="radio"/> 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまにある <input type="radio"/> 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> 2, 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> 3, 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに <input type="radio"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3, あまり増えていない <input type="radio"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	玄関・1階2階の事務所に掲示して職員共有し具現化に努めている	・事業所理念「笑顔に触れる、心に触れるケアの提供」は2年半前に職員の話し合いで作成替え、玄関、事務所に掲示している。 ・管理者は理念の「笑顔に触れる、心に触れるケアの提供」の日常介護サービスでの具現化についてミーティングなどで職員に指導している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入している。地域活動に積極的に参加している（盆踊り、子供神輿等）。ボランティアの受け入れも行っている。2ヶ月に一回ハーモニカや手品のボランティアの受け入れも実施している。	・自治会に加入し、利用者も職員と共に地域の清掃日、盆踊り、秋祭りなどに参加している。 ・地域交流として、ハーモニカ・手品、本の読み聞かせのボランティア受入れ、また近隣小学校の笛の演奏会、中学校の福祉体験学習も行われ、その他障害者のパン工房の出張販売もあり、利用者には好評である。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	小・中学生等へ体験学習に活かしている地域懇談会等を実施して近隣の理解にも努めている 散歩等、笑顔で挨拶をかかさない		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	3ヶ月に一回にペースで開催していたが、指導にて2ヶ月に一度の開催を実施していく。3つのホームにて同じ時間で行っていたが、時間に関しては別々に実施していく。	・横浜市の指導で開催を3か月毎から2か月毎に変更、隣接の「グループホーム飯田北Ⅱ」と合同で実施している。 ・ベットの転落事故もあり、行政の指導により事業所内事故対策委員会で事故ヒヤリハット対策を検討している。	・利用者の安全に関する対策を、ヒヤリハット対策を推進して万全を期してください。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議を含めていつでも相談できる体制が出来ている。定期的に区役所担当者様が面会にこられ、情報の共有を図っている	・2～3か月毎に泉区担当職員が生活保護者との面会を兼ねて来訪して、その時に運営情報を交換し指導を受けている。 ・グループホーム連絡会、区の合同運営委員会に区の担当者が出席し、課題などを話し合う機会がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	毎月身体拘束委員会を行い、研修等で意見を共有して身体拘束をしないケアを実施している	・事業所内に職員による身体拘束廃止委員会を毎月行い、マニュアルを活用したチェック項目の確認、活動上の疑問点などを話し合っている。 ・玄関ドアは防犯上、施錠されているが、ウッドデッキに通じる居間ガラス戸は開錠され自由に入入りができる。	・玄関ドアの日中の開錠について、中からは開いて外からは開かないなどの鍵の工夫と、職員による見守り体制の検討により、日中の開錠の検討を期待します。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員会議や会社の研修等に参加したり、話し合いをもち防止に努めている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している	研修や勉強会を通じて学ぶ機会があります、入居者様の中には制度をつかわれている方もいました。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	事前に契約書をお渡しして、よく読んでいただき、その上で十分説明して納得していただけるように努めています。(契約時、解約時)		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	2ヶ月に一回家族会を開き要望は何っている内容については職員会議や法人に報告している。	・2か月毎の家族会、運営推進会議で家族からの意見・要望を聞いている。 ・家族から散歩に関する要望があり、天候、本人の体調などを考慮して積極的に出かけるようにしている。利用者からは寿司が食べたいとの希望があり、敬老会で寿司を食べ喜ばれた。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会議やミーティング等にて意見交換の場を設け運営に反映しています。毎日の申し送りで日々の気付き等を話あっています	・毎朝の申し送りを兼ねたミーティング、毎月の職員会議のほか、職員には個別に声掛けし意見、要望を聞いている。 ・年2回の個人面接のほか、本社の人事面接も行われている。職員から管理者はもっと現場に出てほしいとの声もあり、実践している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回人事考課を行い、役職昇進や給料に反映させている。個人面談等にて話をして意見をきき反映えきるようならしている		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	会社内研修制度があり、経験や知識にあわせた研修を実施しているまた研修でならってきたことを会議等で伝達して共有している		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	会社内のエリア会議等を通じて毎月交流や勉強会の機会があり、サービスの適正化・向上に努めています。又町内会の他の2つのグループホームとは運営推進会議にて関係をもってい		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前訪問してよくお話をきき信頼関係を築きながら、安心していただけるように努めています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に実態調査を実施し、ご家族様、ご本人様の意向を相談していただきご家族の心境、不安、本人の周りの環境なども聞きとりして入居時も不安な点がないように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人にとって最もよいサービス利用を提案できるように情報を伝え、ご家族様と相談している		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ホームを生活の場として、ご入居者様とスタッフが一緒に出来ることは行っている		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族会等を通じて相談しながら、本人の状態を理解して頂けるように支援しています、また電話や手紙、報告書などの形で連絡を取っています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様や知人に協力していただきなるべく関係が途切れないように努めている また散歩等で知り合った近所の方々々と馴染みの関係が取れるように交流を深めている	<ul style="list-style-type: none"> 入居前の訪問で利用者の生活歴、人間関係などを、また、日頃の利用者との会話から趣味やこれまでの交友関係などを掴むようにしている。 馴染みの理美容室へ家族が付き添いができない場合は職員が付き添い、友人との手紙のやり取りなども支援している。 	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	必要に応じて職員が関わり円滑に関わり合いが持てるように支援している		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じて退居後の生活等相談出来るように、している		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者様との会話を多くすることによって今何をしたいかなど意向把握に努めている。カンファレンスなどで希望にそえるように検討している。また聞き取りが困難な方からは表情やしぐさ等から意向や思いをくみ取り心地よく生活ができるよう支援しています。	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃の会話から利用者の意向把握に努めている。利用者から当日の希望を聞き、散歩、歌などの要望に個別に応えている。コミュニケーションがとり難い利用には家族からの情報や表情、しぐさなどから思いを汲み取って対応している。 ・把握した情報は個人別ファイル、申し送りに記録し、職員間のカンファレンスで検討している。 	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前の情報やご家族様に確認しまた日頃の会話などから把握するように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の申し送りや会議等で日勤帯、夜間帯の様子を把握し情報を共有をしている。また日頃のコミュニケーションを通じて把握に努める。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	居室担当職員おき、職員間での話し合いや医師からの情報や本人の日常生活上の課題等検討しています	・居室担当職員によるモニタリング、家族の意向、医師の指示事項などにより、カンファレンス会議で検討し介護計画を作成している。 ・計画は6か月毎に作成され、通常3か月ごとに見直している。状況変化時は臨機応変に見直している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日記録を残して情報共有して状況カンファレンス等で検討して計画に反映されています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	医療機関、看護や薬局と居宅療養管理指導を結び安心して生活ができるように努めています		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	理美容やボランティア活動の参加や避難訓練などして安心して生活が出来るように支援します		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	日常的には協力医が月2回往診、医療連携看護師が週一回、歯科医の往診衛生士、薬剤師の訪問を実施している	・事業所の協力医、歯科医が月2回往診している。入居時にかかりつけ医について家族と話し合い同意の上全員が協力医の診察を受けている。 ・内科、歯科以外の通院は原則、家族が付き添い診察結果を教えてもらっている。契約先の看護師が週1回訪問、健康管理をトータルしている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携看護師が週一回訪問して健康管理や相談等させていただいています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	担当関係者やご家族様等に話し合い、情報を共有して本人の不安を和らげスムーズに行くように努めている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重要事項説明書に方針を明記し、ご家族様には説明し、介護職にはついでには会議等やマニュアルで方針等情報を共有している	<ul style="list-style-type: none"> 重要事項説明書の「重度化した場合の対応指針」で、入居時に当事業所の看取りに関する考え方を家族と話し合っている。 ターミナルケアに関するDVD、マニュアルで職員研修をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在、事業所と協力医間の看取りに関する協力体制が採られていません。協力医の支援を得て看取りができるように検討を期待します。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急マニュアルを作成や研修等で応急処置や心肺蘇生法の指導をいただいて身につけている		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	運営推進会議や地域懇談会等を通じて協力をお願いをして、消防訓練を年2回行っている	<ul style="list-style-type: none"> 消防避難訓練は地域の自衛消防団の応援を得て年2回実施している。夜間想定訓練が隣の事業所と合同で夜勤職員、利用者参加で行われた。 災害時の水、食材は3日分は確保され、地域の3事業所で協力する体制が出来ている。 	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	接遇研修等で勉強会等を行っているまたその時の状況を考えつつ人格を尊重するように言葉かけを行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・職員は、利用者の個性を尊重し、笑顔で接すると共に自尊心に配慮した言葉かけを実践している。 ・接遇について、入社時研修や事業所内で管理者による研修をうけ、その他日常的にはカンファレンスで話し合い周知している。 	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	押し付けにならないようにご本人が決定できる環境を作り尊重し支援している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者のペースに合わせて職員が柔軟に対応できるよう心掛けている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	髪型や服装等本人に決めてもらいながら、好みのものをと支援しているまた理美容のサービスも提供している		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員は入居者様と一緒に楽しく食事の盛り付けや食事をしている、必要なかたには、介助している	<ul style="list-style-type: none"> ・運営法人給食部の管理栄養士が作成した献立表を基に、業者から届く食材で調理員が調理している。 ・利用者は野菜の下ごしらえや盛り付け、後片付け、配膳等出来る範囲で参加し、季節ごとの行事食や誕生日のケーキを楽しんでいる。 	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事メニューは管理栄養士が作成している、キザミ食やトロミ食などご本人に合った食事形態をとっている水分摂取量は毎日の計測で管理をしている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを実施している、週一回の歯科衛生士や月2回の歯科医師の指導にて清潔保持に努めている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表にてパターンを把握している、失敗しても、さりげなくトイレに誘導している	・排泄が自立している8名の利用者には自立の継続に配慮し、支援を要する利用者には排泄パターンを把握しトイレへの誘導を支援している。 ・支援に当たっては、さりげない声かけを行い、不安や羞恥心、プライバシーへの配慮を心がけている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日適度な運動を心がけて、水分補給等気をつけて提供している		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	希望者に毎日の入浴も支援している。入浴を楽しめるように心掛けている、また季節感をかんじていただくため、菖蒲湯や柚子湯等で楽しんでいただいている	・午前午後を問わず毎日入浴が可能である。時間帯、回数等個人の好みに合わせた支援をし、4名がリフト浴を利用している。 ・歌の好きな利用者がテープをかけながら入浴したり、職員との会話を楽しみながら入浴するなど、利用者が入浴を楽しめるように支援している。	・脱衣室の内側にパーティション等で目隠しをし、入浴中のプライバシーに配慮されることを期待します。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活習慣の状況で日中昼寝したりしています		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤票等あり、また個別の一覧表で確認できる体制を作っていますまた必要に応じて医師、薬剤師、看護師と相談している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	歌や散歩、会話など好きな事ができるように支援し、盆踊りやもみじ祭りなどに参加して楽しんでいる		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご家族様に協力していただきながら、車を使用して外出など楽しんでいる。近くに散歩等季節感が味わえるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・その日の天気や体調を勘案し、本人の希望を入れて、散歩や外気浴を行っている。散歩がてら買い物をしたり、職員と図書館に行く利用者もいる。 ・家族と一緒に外食、旅行、馴染みの美容室などに行き、楽しんでいる利用者もいる。 	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的にはお金の管理等はこちらで実施している、必要に応じてはある程度のお金をお任せしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話で話をしたり、手紙や年賀状等でやりとりしている		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感にあった飾りつけの工夫をしたり心地よく過ごせるように支援しています またテラスのウッドデッキが憩いの場所として利用しています	<ul style="list-style-type: none"> ・リビングの乾燥を防ぐため、加湿器を毎年買い替える等、利用者の健康面に留意している。 ・季節感のある利用者の作品や行事の写真を飾り、職員や利用者相互間の楽しい会話ができている。 ・その他、下駄箱に名前を貼り自分で靴を収納する等、自立した生活習慣の維持を図っている。 	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テラスで過ごせるスペースを作り提供しているまたⅡの方との交流ももてる		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れたものを持ち込み仏壇やタンス等、家族の写真などで部屋の飾りつけをしている	<ul style="list-style-type: none"> ・居室には、収納家具、カーテン、暖房・照明器具、ベット一式が設置されている。 ・利用者は家庭で使い慣れた馴染みの家具や装飾品を持ち込み、居心地の良い部屋作りをしている。 ・掃除は職員と共に毎日行い、リネンは週1回洗濯に出し清潔である。 	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	必要なものは提示して見やすくつかいやすくしている		

事業所名	グループホームみんなの家・横浜飯田北 I
ユニット名	2ユニット

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまにある <input type="radio"/> 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> 2, 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> 3, 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに <input type="radio"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3, あまり増えていない <input type="radio"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	玄関・1階2階の事務所内に掲示して職員共有し具現化に努めている		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入している。地域活動に積極的に参加している（盆踊り、子供神輿等）ボランティアの受け入れも行っている2ヶ月に一回ハーモニカや手品のボランティアの受け入れも実施している		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	小・中学生等へ体験学習に活かしている地域懇談会等を実施して近隣の理解にも努めている 散歩等、笑顔で挨拶をかかさない		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	3ヶ月に一回にペースで開催していたが、指導にて2ヶ月に一度の開催を実施していく。3つのホームにて同じ時間で行っていたが、時間に関しては別々に実施していく。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議を含めていつでも相談できる体制が出来ている。定期的に区役所担当者様が面会にこられ、情報の共有を図っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	毎月身体拘束委員会を行い、研修等で意見を共有して身体拘束をしないケアを実施している		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員会議や会社の研修等に参加したり、話し合いをもち防止に努めている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修や勉強会を通じて学ぶ機会があります、入居者様の中には制度をつかわれている方もいました。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	事前に契約書をお渡しして、よく読んでいただき、その上で十分説明して納得していただけるように努めています。 (契約時、解約時)		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	2ヶ月に一回家族会を開き要望は何っている内容については職員会議や法人に報告している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会議やミーティング等にて意見交換の場を設け運営に反映しています。毎日の申し送りや日々の気付き等を話あっています		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回人事考課を行い、役職昇進や給料に反映させている。個人面談等にて話をして意見をきき反映できるようにしている		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	会社内研修制度があり、経験や知識にあわせた研修を実施しているまた研修でならってきたことを会議等で伝達して共有している		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	会社内のエリア会議等を通じて毎月交流や勉強会の機会があり、サービスの適正化・向上に努めています。又町内会の他の2つのグループホームとは運営推進会議にて関係をもっている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前訪問してよくお話をきき信頼関係を築きながら、安心していただけるように努めています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に実態調査を実施し、ご家族様、ご本人様の意向を相談していただきご家族の心境、不安、本人の周りの環境なども聞きとりして入居時にも不安な点がないように努めています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人にとって最もよいサービス利用を提案できるように情報を伝え、ご家族様と相談している		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ホームを生活の場として、ご入居者様とスタッフが一緒に出来ることは行っている		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族会等を通じて相談しながら、本人の状態を理解して頂けるように支援しています、また電話や手紙、報告書などの形で連絡を取り合っています、		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様や知人に協力していただきなるべく関係が途切れないように努めているまた散歩等で知り合った近所の方々と馴染みの関係が取れるように交流を深めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	必要に応じて職員が関わり円滑に関わり合いが持てるように支援している		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じて退居後の生活等相談出来るように、している		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者様との会話を多くすることによって今何をしたいかなど意向把握に努めているカンファレンスなどで希望にそえるように検討しているまた聞き取りが困難な方からは表情やしぐさ等から意向や思いをくみ取り心地よく生活ができるよう支援しています		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前の情報やご家族様に確認しました日頃の会話などから把握するように努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の申し送りや会議等で日勤帯、夜間帯の様子を把握し情報を共有をしている。また日頃のコミュニケーションを通じて把握に努める。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	居室担当職員おき、職員間での話し合いや医師からの情報や本人の日常生活上の課題等検討しています		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日記録を残して情報共有して状況カンファレンス等で検討して計画に反映されています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	医療機関、看護や薬局と居宅療養管理指導を結び安心して生活ができるように努めています		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	理美容やボランティア活動の参加や避難訓練などして安心して生活ができるように支援します		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	日常的には協力医が月2回往診、医療連携看護師が週一回、歯科医の往診衛生士、薬剤師の訪問を実施している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携看護師が週一回訪問して健康管理や相談等させていただいています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	担当関係者やご家族様等に話し合い、情報を共有して本人の不安を和らげスムーズに行くように努めている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重要事項説明書に方針を明記し、ご家族様には説明し、介護職にはついては会議等やマニュアルで方針等情報を共有している		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急マニュアルを作成や研修等で応急処置や心肺蘇生法の指導をいただいて身につけている		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	運営推進会議や地域懇談会等を通じて協力をお願いをして、消防訓練を年2回行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	接遇研修等で勉強会等を行っているまたその時の状況を考えつつ人格を尊重するように言葉かけを行っている		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	押し付けにならないようにご本人が決定できる環境を作り尊重し支援している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者のペースに合わせて職員が柔軟に対応できるよう心掛けている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	髪型や服装等本人に決めてもらいながら、好みのものをと支援しているまた理美容のサービスも提供している		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員は入居者様と一緒に楽しく食事の盛り付けや食事をしている、必要なかたには、介助している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事メニューは管理栄養士が作成している、キザミ食やトロミ食などご本人に合った食事形態をとっている水分摂取量は毎日の計測で管理をしている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを実施している、週一回の歯科衛生士や月2回の歯科医師の指導にて清潔保持に努めている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表にてパターンを把握している、失敗しても、さりげなくトイレに誘導している		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日適度な運動を心がけて、水分補給等気をつけて提供している		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	希望者に毎日の入浴も支援している。入浴を楽しめるように心掛けている、また季節感をかんじていただくため、菖蒲湯や柚子湯等で楽しんでいる		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活習慣の状況で日中昼寝したりしています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤票等あり、また個別の一覧表で確認できる体制を作っていますまた必要に応じて医師、薬剤師、看護師と相談している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	歌や散歩、会話など好きな事ができるように支援し、盆踊りやもみじ祭りなどに参加して楽しんでいる		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご家族様に協力していただきながら、車を使用して外出など楽しんでいる。近くに散歩等季節感が味わえるように支援している		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的にはお金の管理等はこちらで実施している、必要に応じてはある程度のお金をお任せしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話で話をしたり、手紙や年賀状等でやりとりしている		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感にあった飾りつけの工夫をしたり心地よく過ごせるように支援していますまたテラスのウッドデッキが憩いの場所として利用しています		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テラスで過ごせるスペースを作り提供しているまたⅡの方との交流ももてる		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れたものを持ち込み仏壇やタンス等、家族の写真などで部屋の飾りつけをしている		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	必要なものは提示して見やすくつかいやすくしている		

目 標 達 成 計 画

事業所名 GHみんなの家・横浜飯田北 I

作成日 平成25年1月10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるようなよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	17	脱衣所に仕切りがない ドアを開けたらみえてしまう	パーティションなどの仕切り版などで対応していく	本部と相談して仕切り版等の対応をしていく	一ヶ月
2	33	看取りに関する勉強会等行って知識としてはもつように努力している	医療機関との連携とうで実際の準備に備える	本部や医療機関等連携して具体的な内容を検討していきたい	不明
3					
4					
5					